

ちくさえとこ通信

No.32

2026.1.15 発行

祝 令和8年ちくさ二十歳(はたち)の祝典



▲千種幼稚園



▲千種杉の子保育園

おめでとう
ございます

1月3日に
ライブラリーちくさで
「ちくさ二十歳(はたち)の祝典」
が開催されました。

祝
二十歳
おめでとう申し上げます



修学旅行交流校「義民高級中学校（台湾）」千種高校へようこそ!!

令和7年12月10日（水）に千種高校の修学旅行で交流のある「義民高級中学校」の生徒30名が来校されました。10時20分に千種高校に到着し、体育館での歓迎行事を実施し、カルチャー部の和太鼓による歓迎演奏から始まり、両者代表による挨拶がありました。修学旅行で交流のあるチャレンジ類型の2年生から英語での学校紹介があり、義民高級中学校からは、これまでの修学旅行の交流をまとめたムービーの上映、日本の歌「花～すべての人の心に花を～」が披露されました。歓迎行事終了後に千種高校と義民高級中学校の生徒全員による写真撮影を行いました。



続いて、義民高級中学校の生徒を10名ずつに分かれてもらい、各学年による交流会が行われました。1年生は、ホームルーム教室において「UNO」カードゲームによる交流を行い、2年生は、折り紙と日本語講座を行いました。3年生は、正月遊びをテーマに交流を深めました。

昼食の時間には、調理室において義民高級中学校の生徒5名の席に千種高校2年生の生徒会6名が1名ずつ着席をして、交流をしながら千種高校自慢の昼食を食べてもらいました。



昼食後は、義民高級中学校の生徒に千種高校の特色ある部活動、カルチャー部（和太鼓）、茶華道部、ライフル射撃部に分かれて体験をしてもらいました。



部活動体験が終了後、千種高校の生徒がお見送りをを行い、義民高級中学校の生徒は、14時00分に千種高校を後にしました。両校の生徒間の絆が深まる素晴らしい交流行事となりました。



「やーよ!やーま!」 祭で町に活気を! ちょいちょいまかちょい!

子どもたちの元気いっぱいのかけ声が、千草の町に響き渡りました。コロナ禍で中止していた千草大森神社の屋台運行と獅子舞の道行きが再開され、盛大に秋祭が開催されました。

コロナ禍でも、役員の皆様にご参拝いただいて、自治会の平穏安寧を祈願する神事は執り行っていました。頭屋の方々も甘酒などを用意してくださっていましたが、一般の参拝者は少なく、とても寂しい祭となっていました。

そんな中、小学生とその親御さんから声が上がり、中学校生とその親御さんのご協力、獅子舞保存会と自治会、警察の皆様のご尽力、たくさんの方々のお力添えがあって、

屋台の運行と獅子舞の道行きの再開が実現しました。話が進んでいく中、コロナ禍後の社会の変化に不安を感じる方々もいらっしゃいましたが、祭を再び活気あるものにしたいと思う方々がたくさんいらっしゃったことに、私はとても感激しました。屋台は小さい屋台を使用。運行回数も3回から2回に。こども園の子どもたちや園小中の親御さんにも参加してもらいました。以前と同じようにとはいきませんでした。力を合わせて屋台運行と獅子舞道行きが再開できたことを、祭にかかわってくださったたくさんの方々に感謝します。ありがとうございました。



「だんだん元気がなくなってるよー!後ろ、もっと声出そー!」

必死に鼓舞する中学生。

「やーよ!やーま!ちょいちょいまかちょい!」

一生懸命声を出したこども園、小学生の子どもたち。

「久しぶりやけど、ほんまにええねー。元気がもらえるわ。」

獅子舞の音色と子どもたちの声で笑顔になる地域の方々。



コロナ禍を経験し、さらに少子高齢化が進む千種町で、以前と同じ事はできなくなりました。しかし、できる形に改善し、少人数でも力を合わせて、これからも私たちの住む町を私たちの手で活気あるものにしていきましょう。

千草大森神社宮司 春 名 伸 也

ちくさえとこ協議会企画委員会の歩み



企画委員会委員長 堀 田 善 巳

ちくさの課題はと尋ねられると、少子高齢化・田畑の荒廃・伝承文化の衰退等々数え上げれば限りなくあります。けれど、それを嘆くのではなく、この地で生きる私たち自身がそれらを真正面から受け止め、一つでも、少しでも解消していくために何ができるかアイデアを出し合い、行動に移していくその取り組みが何より求められているのです。

町外から登校してくる高校生が雨風や寒さが防げるバス停づくりも具体化してきました。害獣対策を進めていくための、狩猟免許等新規取得補助制度の活用呼びかけ・轟音玉を使い動物を駆逐するために必要な「煙火消費保安手帳」取得のための講習会も開催していこうと計画しています。高齢化に伴い運転免許を返納せざるを得なくなった人々に活用してもらおうと、「ええとこバス」の実証運行も始まりました。

また、昔懐かしい「ちくさうどん」復活の取り組み・町内外を問わず、町の歴史や文化・自然のすばらしさを伝えるために「ガイドクラブちくさ」も立ち上がりました。

あなたのアイデアも生かしていきませんか。是非、企画委員会までお寄せください。



『夢のかけはし 青空café』



一 坪 光 恵

青空カフェは、気軽に皆さんで集まって話をする場作りを目的に、企画委員を中心に開催して行きます！今回は、その第1回。

11月29日（土）。曇り空の向こうに見え隠れする紅葉が舞い、季節の移ろいを感じる大通り広場での1コマをお知らせします。「クリスマスリースワークショップと、青空カフェで焼いても食べられるおやつバイキング」として、旧鷹巣東小学校企画（上郡ボランティアグループ協力）さんとの共催で開催しました。

参加者が目標を一つにし、それぞれのアイデアや工夫を凝らしたリースが完成しました。出来上がった作品を抱えて喜び子どもたちや、途中で松ぼっくりのボンズが外れて転がる様子など、その子どもたちの光景は今も私の脳裏に焼きついています。



作業後は、千種の野菜を使った煮物や、野菜とおにぎり、わさび味噌、メレンゲ菓子などを炭火で焼いて味わいました。高校生が煮物大根と、串に刺したマッシュマロを炭火で焼いて食べた時の驚きは印象的で、炭火焼きおにぎりのトッピングやカブラ、お肉、マッシュマロなどを楽しそうに味わいながらの交流会となりました。

参加者は28名、スタッフ7名。すべての時間を楽ししく過ごし、多くの意見を聞くことができたことに感謝しています。

次回も『夢のかけはし』の輪がさらに広がることを楽しみにしています。



「ちくさうどん」復活プロジェクトチーム

始動しています

Q1 ちくさうどんを復活させようと思ったきっかけは何ですか？

A ええとこ協議会の未来会議の中で、「昔あった『ちくさうどん』を復活させたいな」「ちくさの特産物になるんじゃないだろうか」という話が出ました。商店街を盛り上げることにもつながったらいいな、そんな思いから、有志のプロジェクトチームが立ち上がりました。



Q2 ちくさうどんは、どんなうどんですか？

A コシはないけれど、香りがよくて、のど越しがよくて、おいしいうどんです。最近のうどんはコシがあるのが主流ですが、ちくさうどんは昭和30年頃、ちくさの商店街にあった食堂で使われていました。当時は松尾さんが作られていて、「松尾のうどん」と呼ばれていました

Q3 ちくさうどんを作るにあたって、特に気をつけていることは何でしょうか？

A 固くならないように、水を多めにして、塩は少なめにしています。また、あまり踏まず、こねすぎないようにも気をつけています。塩を少なめにするのは、コシや固さにつながるからです。そうしたことも踏まえながら研究と試作を重ねているところです。



Q4 実際にちくさうどんを作ってみて、どんなことを感じていますか？

A 非常に難しいです。特に「香り」を出すのが、とても難しいと感じています。粉の種類や水の種類を変えながら試してみようと思っていますが、なかなか簡単ではないですね。



Q5 ちくさうどんに込めている、一番大切な思いは何ですか？

A 「あ、これがちくさうどんじゃったなあ」そう思ってもらえるうどんを作りたい、という思いです。昔を知っている人が食べて、「あ、これがちくさうどんやったなあ」と感じてもらえる、そんなうどんを目指しています。

子どもからお年寄りまで、すべての町民の方に、そして、町外の人、いろんな人に広がっていったらいいなと思っています。皆様も楽しくプロジェクトに参加されてみませんか？

ペンリレー 第21回

中村夏英子さん

Q 自己紹介

なかむらか えいこ
中村夏英子（74歳）です。

Q お仕事は何されてますか？

シルバー人材センターに登録し、ゴルフ場の山荘清掃などをしております。

Q 趣味は？

買い物兼ねたドライブ・春の山菜取り・読書
野菜作りをしていたのですが猿に負けて諦めました。
今は韓国時代劇にはまっています。

Q 何をしている時が一番楽しいですか？

友達とのドライブや近所のお家でお茶タイム、仕事で出会う人達との何気ない会話している時が楽しいです。

Q 夢は何ですか？

元気で出かけることが出来ればと思っています。

Q 千種町への思いは？

仕事や私事でも千種町の方にはいろいろとお世話になり感謝です。今は人との繋がりもだんだんとなくなり、何にしても削減されているので残念なことだと思います。

Q 次回の紹介者は？

阿曾寅治さんです。



千種のまちになにがある？VOL.1

ちくさの商店街

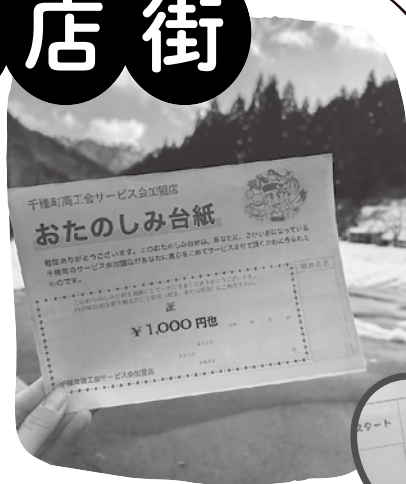
あ、あれがない。。。と困ったときに
時間があるなあというときに

商店街にでかけてみましょう

商店街も少しずつカタチを変えながら
これからも千種町の日常生活を
支えてくださる場所で
大切なコミュニティのひとつです

ただ、必要なものを買うだけではない

元気にしとってか？ と
声をかけあえる関係がここにあります



ポイント貯めてる？

千種町商工会サービス会加盟店

井原商店
フードストアおくだ
尾崎酒食料品店
Yショップ栄栗木梨
住江荒物店
木山薬局
鳥羽食料品店
理容タニカワ

500円で1枚もらえて

90枚で1,000円分の商品券に！



おでかけのときには
ええとこバスに
乗るもよし

記事募集

ええとこ通信は千種のことを知る
そして、知っていただく
大切なツールのひとつです

ええとこ通信にあなたの想いやお知らせの記事など載せてみませんか？

ちくさふれあいフェスタ2025

10月26日

老若男女問わず楽しんでいただけるイベントにしたいという思いで、準備を進めてまいりました。



当日はあいにく雨に見舞われる場面もありましたが、今回、ちくさのイベントを盛り上げたいというスタッフの想いを受け、INGオーナー様のご厚意により、迫力満点のスーパーカーが登場しました。普段なかなか間近で見ることのできないスーパーカーに、子どもたちはもちろん、大人も目を輝かせ、会場は大変な盛り上がりを見せました。

また、今回ご参加・ご出店いただいた皆さまから、さまざまなご意見・ご感想を頂戴しました。嬉しいお声とともに、今後につながる貴重なご意見も多数いただきました。



これらのご意見を真摯に受け止め、次回はより一体感のある、さらに楽しんでいただけるイベントづくりに努めてまいります。



ご来場・ご参加いただいた皆さま、そしてご協力いただいた関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。 スタッフ一同より

スーパーカーを提供してくださった
TotalCarCreator's ING代表山本様より

この度はご縁をいただき、誠にありがとうございました。

私たちは「車を通して、夢・希望・感動を子どもから大人までお届けしたい」という当社のビジョンのもと、千種地域のお祭りに参加させていただきました。

当日は、地域の皆さまの温かさに触れ、私たち自身が多くの元氣と感動をいただく一日となりました。

このような素敵なイベントに参加させていただき、心より感謝申し上げます。



ちくさふれあいフェスタ2025



♡ こんにちは 赤ちゃん ♡

赤ちゃん写真大募集!

新しい可愛い家族を紹介してください。



七野
春名 ベサニーちゃん

天の変わらぬ愛と共にありますように。

敬愛

(父：将資さん 母：はなさん)



岩野辺
秋久 慶次ちゃん

たくさんの幸せと愛情に恵まれ、慶びが次ぐ豊かな人生を歩めますように ✨ 生まれてきてくれてありがとう ✨

(父：輝誘さん 母：明音さん)